

令和 8 年
第 2 回
評 議 員 会 会 議 録

5 月 2 1 日（木）

国立市土地開発公社

令和8年 第2回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和8年5月21日（木）

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名

会長	青木 健	副会長	山口 智之
	石井 伸之		高柳 貴美代
	大谷 俊樹		古濱 薫
	中谷 絢子		青木 淳子
	矢部 新		石井 めぐみ

(2) 理事 8名

理事長	宮崎 宏一	副理事長	雨宮 和人
出納理事	藤崎 秀明	常務理事	立川 浩平
理事	黒澤 重徳	理事	大川 潤一
理事	松田 周平	理事	中島 広幸

(3) 監事 2名

監事	三田 徹	監事	吉田 公一
----	------	----	-------

(4) 事務局 3名

事務局長	山崎 圭太	庶務係長	土方 智紀
庶務係員	餅 茉里子		

4. 議題

協議事項4 令和7年度国立市土地開発公社決算

5. 会議時間 開会 午前9時00分
閉会 午前9時25分

午前9時00分開会

議 長 (青 木 健 君)

おはようございます。本日は国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

市内の用水路に水が入り、ツバメが飛び交う季節となりました。気象庁からは、今年の夏は全国的に気温が高くなるとの予報が出されています。

評議員の皆様におかれましては、早めの熱中症対策を心掛け、お体に十分ご留意くださいますようお願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。ただいまの出席評議員は10名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから令和8年第2回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

議長において、「中谷評議員」と「青木淳子評議員」の両名を指名することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、中谷評議員と青木淳子評議員の両名を指名いたします。

日程第2「会期の決定について」を議題といたします。
会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。
日程第3「理事長あいさつ」でございます。理事長、よろしくお願い申し上げます。

理 事 長 (宮 崎 宏 一 君)

国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日も協議いただきますのは、国立市土地開発公社の令和7年度決算でございます。

令和7年度の公社事業におきましては、国立市からの依頼に基づき公社が先行取得した市道南第30号線（南工区）用地を1件処分いたしました。

なお、本決算につきましては、さる5月12日に三田監事及び吉田監事に、監査を実施していただいたところでございます。

詳しい内容につきましては事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご協力をお願い申し上げ、あいさついたします。

議 長 (青 木 健 君)

ありがとうございました。

それでは、協議事項4「令和7年度国立市土地開発公社決算について」を議題といたします。当局から説明を求めます。事務局長。

事 務 局 長 (山 崎 圭 太 君)

それでは、協議事項4「令和7年度国立市土地開発公社決算」につきまして、ご説明申し上げます。

最初に、1. 事業報告書でございます。3ページ、令和7年度決算の概況でございますが、用地の処分が1件ございました。

次に、4ページのカッコ2評議員会協議事項等でございますが、表記のとおり評議員会を2回開催し、4件の協議事項につきまして、協議いただいたところでございます。

5ページおよび6ページでは、カッコ4からカッコ6、令和8年3月31日現在の評議員、役員および職員に関する事項を記載しております。

次に7ページの2. 業務でございます。令和7年度におきましては、市道南第30号線（南工区）用地の売払いが1件ございました。面積は102.71平方メートル、価格合計が2千135万4千214円でございます。

次に、8ページの3. 会計でございます。カッコ2の長期借入金概況でございますが、借入先は国立市で、令和7年度の借入額は、4千641万8千800円、償還額は、6千743万3千174円、未償還残高は、1億9千641万8千800円となっております。

次に、2. 決算報告書でございます。11ページから14ページは、令和7年度収入支出決算書でございます。11ページ収益的収入の決算額合計は、2千140万248円、12ページ収益的支出の決算額合計は、2千164万6千59円、13ページ資本的収入の決算額合計は、6千777万3千14円、14ページ資本的支出の決算額合計は、6千890万7千174円、となっております。

15ページから19ページは、決算明細書でございます。収益的収入は、款1事業収益の項1公有地取得事業収益2千135万4千214円、および款2事業外収益の項1受取利息4万6千34円でございます。

16ページ・17ページの収益的支出は、款1事業原価の項1公有地取得事業原価2千135万4千214円、および款2販売費及び一般管理費の項1販売費及び一般管理費29万1千845円、でございます。

18ページの資本的収入は、項1固定資産売却代金2千135万4千214円、項3長期借入金4千641万8千800円、19ページの資本的支出は、項2事業管理費147万4千円、および項4長期借入金償還金6千743万3千174円でございます。

次に、3 財務諸表について、ご説明いたします。23ページをお開きください。令和7年度国立市土地開発公社損益計算書でございます。

1. の事業収益から2. の事業原価を差し引いた額が事業総利益となり、事業総利益から3の販売費及び一般管理費を差し引いた額

が事業損失の、29万1千845円でございます。

この事業損失に4.の事業外収益を加え、5.の事業外費用を差し引いた額が経常損失となり、最終行の当期純損失が24万5千811円となるものでございます。

次に、24ページをお開きください。令和7年度国立市土地開発公社貸借対照表でございます。

表左側の上段、資産の部でございますが、1.の流動資産は合計で2億896万7千879円、2.の固定資産は800万円で、最終行の資産合計が、2億1千696万7千879円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、2.の固定負債は合計で1億9千641万8千800円、負債合計が、同額の、1億9千641万8千800円となるものでございます。

次に、表右側の下段、純資産の部でございますが、1.の資本金は合計800万円、2.の準備金は合計で1千254万9千79円、純資産合計が、2千54万9千79円となるものでございます。

表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の2億1千696万7千879円となるものでございます。

次に25ページの財産目録でございますが、資産合計と、負債・純資産合計が、ともに、2億1千696万7千879円となっております。

このうち、純資産の2.準備金、1千254万9千79円が、ページ下段の準備金処分計算書にありますとおり、前年度繰越準備金から当期純損失を差し引いた当年度末未処分準備金となり、翌年度への繰越準備金として処分するものでございます。

次に26ページでございますが、令和7年度国立市土地開発公社キャッシュフロー計算書でございます。

1.は、事業活動によるキャッシュフローで、事業活動にかかる収入と支出を示してございます。計、1千963万4千403円と

なっております。

2. は財務活動によるキャッシュフローで、計、マイナス2千101万4千374円となっております。

3. の現金及び現金同等物の増加額は、1と2の合計となり、マイナス137万9千971円となります。

4. の現金及び現金同等物の期首残高は、1千317万230円となりますので、5. の現金及び現金同等物の期末残高は、1千179万259円となっております。

次に、4. 附属明細書でございます。29ページは、事業報告書で説明いたしました長期借入金の明細と、資本金の明細でございます。

最後に、31ページに、令和8年5月12日に実施いたしました、決算監査の意見書の写しを添付しております。

以上が、令和7年度国立市土地開発公社決算についての説明となります。

なお、協議事項に関する説明資料といたしまして、「令和7年度末公有用地明細表」をあわせて提出しております。それではよろしく、ご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長 (青木健君)

説明が終わりました。

引き続きまして、監査結果について、ご報告を願います。三田監事、よろしくお願いいたします。

監事 (三田徹君)

監事の三田でございます。監事を代表しましてご報告いたします。

吉田公一監事と私、三田徹両名は、令和8年5月12日午前10時から、国立市役所会議室棟「ぶなのへや」において、国立市土地開発公社会計規程第35条第2項の規定に基づき、令和7年度の会計決算について、事業報告及び会計帳簿、証拠書類並びに財務諸表

の監査を実施したところ、正確・適正に執行されておりましたこと
をご報告申し上げます。

議 長 (青 木 健 君)

報告が終わりました。
それでは、ご質疑、ご意見を承ります。

評 議 員 (石 井 伸 之 君)

おはようございます。それでは、資料の23ページ、24ページ、25ページにそれぞれ出てきます当期純損失、24万5千811円、こちらの内容についてもう少し具体的に教えていただけますでしょうか。

事 務 局 長 (山 崎 圭 太 君)

当期純損失の24万5千811円の内訳でございますが、項目としましては3つございまして、まず人件費でございます。17ページをお開きください。款2販売費及び一般管理費、項1販売費及び一般管理費、目1人件費、報酬、こちらの21万5千400円と目2経費、7万6千445円、こちらを合算した金額となっております、7万6千445円の内訳といたしましては、節2役務費、1千445円、公租公課の7万円、負担金、補助及び交付金の5千円を合算したものでございます。そちらの額から収益の額を差引いた額が、当期純損失の額となっております、収益につきましては、15ページ款2事業外収益の項1受取利息、目1受取利息の4万6千34円が収入額となりまして、内訳といたしまして、預金利息の2万6千34円と資本財産収入の2万円の収入額の合計を差引いたものでございます。

評 議 員 (石 井 伸 之 君)

分かりました。差引き、足し算という形で当期純損失が計上されたということが分かりました。あと、過去の話を遡ってしまうのですけれども、以前、清算事業団跡地という形で、国立駅南口におきまして、以前は暫定利用という形で駐車場を設置したという経緯があったかと思います。そういった中で、実際に定期貸し等されていた中で、実際にそういった部分に関して、未収額となっているようなところは残っているのでしょうか。そのあたりの精算というのは

すべて終わっているのでしょうか。

事務局 長

(山 崎 圭 太 君)

ご質問の事項につきましては、未収金といたしまして、24ページをお開きください。左側の資産の部、1流動資産のうち、カッコ2未収金といたしまして25万円を計上してございます。こちらが駐車場を経営しておりました際の未収金として、現時点で残ってございます未収のお金ということになってございます。

評 議 員

(石 井 伸 之 君)

25ページにあります、未収金25万円というところであるということで答弁をいただきました。こちらの未収金の回収についてはいかがでしょうか。

事務局 長

(山 崎 圭 太 君)

令和7年度におきましても、債務者等との接触は行っております。公社といたしましても未収金につきましては、お支払いをいただくよう努めているところでございますが、結果としてお支払いいただくところまでは至っていないという状況でございます。

評 議 員

(石 井 伸 之 君)

そういったところに関しては、なにか法的に弁護士等、なにかそちらとの協議等をして、実際にこの未収金の回収に向けた、このアプローチに向けて、令和7年度、そのあたりはいかがでしょうか。

事務局 長

(山 崎 圭 太 君)

令和7年度につきましては、弁護士等交えてということとは行っていないところでございますが、時効を迎える際、令和4年度になりますが、そちらの今後の回収方法等につきまして、ご相談をいたしているところでございます。それに基づきまして、現在の状況等把握するということで、事務局の方でお会いして、お支払いを促しているところでございます。

評 議 員

(石 井 伸 之 君)

確認なのですが、令和４年度時効を迎えるというご答弁がありましたが、令和４年度時効を迎えてもなにかしらアプローチをしていることによって、時効が延長されてまだ債権として残っているという、そういった認識で大丈夫でしょうか。

事務局長 (山崎圭太君)

失礼いたしました。令和４年度に時効を迎えることから、その時効を延ばす手続きをしてございまして、その令和４年度からさらに債権が維持されている状況でございます。

評議員 (石井伸之君)

こちらの債権につきましては、延長がされているという答弁がありましたけれども、延長の期間内になんとしても回収をするという、そういった方向で努力をされていくという形でよろしいでしょうか。

事務局長 (山崎圭太君)

おっしゃる通りでございます。

評議員 (大谷俊樹君)

長期借入金ということで、土地開発公社が保有していた土地が売却できたということで、ちょうどその金額分、長期借入金を返済できたということの解釈で良いですか。

事務局長 (山崎圭太君)

長期借入金のうち、南３０号線用地の国立市への買戻しに伴いまして、そちらにかかった経費につきましては、長期借入金からの減額となっております。

評議員 (大谷俊樹君)

その金額が、その分だけ引かれているという解釈でよろしいでしょうか。

事務局長 (山崎圭太君)

おっしゃる通りでございます。8ページでございます、長期借入金概況でございますが、前年度繰越残高といたしまして、2億1千743万3千174円、1番右側の未償還残高といたしまして、1億9千641万8千800円、こちらの差額につきまして、南30号線用地の償還に伴う全額でございます。

評 議 員

(大 谷 俊 樹 君)

財務諸表をみると、だいぶ健全な経営だなということで、流動資産がこれだけあって流動負債がありませんけど、固定負債の部分が、国立市から無償で土地を保有する分、所謂固定負債となっていると思うのですが、この部分は丸々、市が買い取ってもらえる保証があるという考え方で良いのですよね。

事 務 局 長

(山 崎 圭 太 君)

市からの買取りの依頼によって、購入している部分でございますので、国立市に買い戻していただけるという認識でございます。

評 議 員

(大 谷 俊 樹 君)

かなり健全だというところで、先ほどの石井評議員の質疑の中で、人件費の部分、そういうものが当期純損失にあがってくる、これは毎年25万円ずつくらい損失であがってくるという考え方で良いのですか。

事 務 局 長

(山 崎 圭 太 君)

人件費、振込手数料等、一部の一定額につきましては毎年発生してくるものでございます。

評 議 員

(大 谷 俊 樹 君)

わかりました。これはどこの利益で埋めるのですか。

事 務 局 長

(山 崎 圭 太 君)

まずは、公社の収入も一定ございます。預金金利等の一定収入もございます。ただ、現状そちらで賄えていない状況でございますが、ある段階になったら、そちらの方検討する必要があるかと思

います。ひとつは、国立市からの補助金を受ける等、そういったところも念頭に今後の状況を見ていきたいと考えてございます。

評 議 員

(大 谷 俊 樹 君)

わかりました。最後に質問したいと思いますが、そういう意味では駐車場運営というのは、良い運営をしていたのかなと思います。それが終わりました、そういうところの今後課題として、なにかしらあるなという中では、石井評議員の質疑の中でもありましたけど、その結果の残った未収金というのは、1年分の人件費でありますので、大変もったいないなということ、法的には入ってこないといけないものですから、最後にこの時効になる期間、これはいつに延期になったのか教えてもらえますか。

事 務 局 長

(山 崎 圭 太 君)

延長されました期間につきましては、10年間でございます。

評 議 員

(大 谷 俊 樹 君)

極力、法的手段を含めながら、1年分の人件費でありますし、収入源をうちは失ったわけでございますから、ぜひそれを真剣に検討していただきたいというのを申し付けたいということもありますし、今後、ここはそこまで考えなければいけないのかとちょっと微妙なところですけども、またなにか駐車場運営のようなチャンスがありましたら、積極的にやっていただきたいなということは申し添えて、質疑を終わりたいと思います。

議 長

(青 木 健 君)

ほかに、ございませんか。

なければ、協議事項4について、終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、令和8年第2回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前9時25分閉会